

# 令和7年度 草津市水防訓練

6月8日（日）8：20～11：00 草津市防災ステーションにて

出席人数 56名



### 25年度草津市水防訓練に参加

## 積土のう工など実践

— NPO草津 —



水防実践訓練で草津市新規採用職員と共に積土のう工に取り組むNPO草津の参加者ら

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会」(略称「NPO法人草津市内業者会」・守野洋史理事長(守建設機代表取締役))は8日、草津市の草津川防災ステーションで行われた「令和7年

度草津市水防訓練」に参加した。

草津市水防訓練(主催「草津市、主管「滋賀県南部土木事務所、草津市消防団、湖南広域消防局西消防署・南消防署」は、本格的な梅雨シーズンを迎え水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安心を確保するため開催。

NPO草津からは56名が参加。全員が揃いの黄色いNPOベストと活動服、ヘルメットを着用し、消防団と消防署員、市職員らとの連携のもと、水害の事態に備える確に対応できる水防技術・知識の習得・向上を図るための土のう作り・運搬と水防工法の訓練にあたった。

当日はNPO草津に加え、消防団員、消防署員、市職員から成る機勢240名の参加者を前に、橋川渉草津市長らが激励のあいさつを行い訓練がスタート。第1部訓練では説明を受け、約1000袋の土のう作りを実施。第2部訓練では水防工法の作業工程の説明の後、4班に分かれ積土のう工を実践訓練。作業完了後は県南部土木事務所長、西・南消防署長、NPO法人草津市内業者会の守野理事

長らによる工法出来栄確認も行われた。

訓練終了後は使用した土のうを各消防団、備蓄用土のう置き場へ運搬し、いざという時の備えとした。